令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

都道府県名	高知県
市区町村名	大豊町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
大豊町	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	学習の理解力には個人差があり、授業時間内では理解しきれない生徒がいるため放課後等に加力補習をする必要がある。	数学において、放課後、長期休業中の加力補習を実施したが、今後も必要である。	引き続き、放課後・長期休業中の加力補習を行う。	数学の定期テストにおいて、30点以下の生徒を20%以下にする。	定期テスト	29	%	20		
大豊町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	各分野の方が高齢化し、地域における人材の確保が課題である。	推進員が地域側の窓口になり、学校と地域のつなぎ役をしている。	引き続き、PTAとも協力し、地域における人材を確保する。また森林組合や農業関係者など各分野の専門家に協力を依頼する。	PTAの方や各分野の専門家を学校支援ボランティア数に登録する。	おおとよ家サポーターの登録数	13	人	15		
大豊町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家庭学習の時間や学校以外で学習を行う機会が減っていることが、課題である。	放課後子ども教室において、宿題等の学習支援を行っている。	放課後子ども教室で宿題をする時間を設け、宿題等の学習支援を行い、日常的に自ら学習を行う動機づけを進めていく。	学校以外で日常的に学習を行う習慣をつける。	家庭学習アンケート	40	%	50		

記載不要

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。